

第4回 佐屋小学校準備委員会 次第

日時 令和7年7月29日 午後2時～

場所 愛西市役所 北館3階 災害対策本部兼会議室1・2

1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 本年度の目標について

(2) 検討部会での検討事項について

4 閉会

校舎等

- ・地域住民と交流をはかれる多目的のホール等の生涯学習スペース
- ・室内のガラスを強化ガラスに。
- ・円の校舎
- ・エレベーター
- ・病児保育施設
- ・体育館通路のバリアフリー化
- ・体育館にエアコンを設置
- ・市民が利用できる屋内プールがほしい。
- ・運動場に屋根のある部分、ミストシャワーを作る。

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・体育館に車椅子用スロープ

外

- ・防災トイレの設置
- ・車が入ってしやすいロータリー
- ・屋上にソーラーパネルの設置（停電時対応用）

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・避難所となった時に使用できるかまどやトイレ
- ・蓄電設備、太陽光発電

その他

- ・避難所体験ができるような宿泊施設、備品がほしい。

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・学校や体育館のキーボックス（災害時のため）

施設・通学路に関する意見

- ・風通しを良くする。
- ・光が入り、明るい空間に。
- ・円の校舎
- ・南館の底上げ
- ・予期せぬ大雨にも浸水しない校舎
- ・運動場へ出やすい昇降口
- ・職員室近くにお迎え児童の待機スペースと出入口
- ・開放的な保健室
- ・トイレの位置の検討
- ・学年ごとの物品が置ける学年室
- ・管理棟と各教室、運動場配置の検討
- ・教室とロッカーのサイズアップ（A4教科書対応）
- ・各フロアに学年問わず集まれる広いスペース
- ・教室の面積の拡大（ロッカー、タブレットの保管庫を置いても十分なスペース）
- ・特別支援教室にパーテーションを設置し、2部屋に分けられるように。
- ・教室に入れない児童が一時的に休めるスペース
- ・児童を保護者へスムーズに引き渡せるような保健室の設置場所を検討
- ・中庭にも遊び施設を作る。

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・荷物置場と更衣スペースの仕切りがほしい。
- ・外線電話回線の増加
- ・廊下でも放送が聞こえるようにしてほしい。
- ・2、3年フロアの手洗いスペースの増加
- ・メンテナンスが必要なものはどのようにしていくかの検討
- ・修繕することを前提とした検討
- ・PTA 玄関辺りの排水を良く。
- ・昇降口の出入り口を大きく。
- ・コンクリートを通らずに運動場に出るようにしてほしい。
- ・トイレは洋式かつ暖房便座
- ・広い図書室
- ・家庭科室、配膳室の設備の充実
- ・嘔吐等での隔離スペース

教室・廊下

- ・収納の多い教室
- ・明るく広々とした教室
- ・木のぬくもりのある教室
- ・光が入り、解放感のある教室
- ・余裕のある教室の広さ
- ・ふれあい空間や給食の配膳のための広い廊下
- ・給食の備品を廊下で保管できるスペース作り

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・学校内に適応指導教室を設置
- ・十分な収納スペース、掲示スペース
- ・低学年の学年室
- ・荷物置き場と更衣スペースの仕切りがほしい。
- ・1学年1教室の支援学級教室
- ・配膳室の設備の充実
- ・廊下でも放送が聞こえるようにしてほしい。

特別教室

- ・掃除しやすい教室
- ・体育、音楽等が楽しくできるような教室
- ・学年関係なく集まれる場所
- ・多数のお迎え児童の待機スペース
- ・屋根のある学年下校ができるスペース
- ・教師が人目を気にせず休憩できる場所

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・家庭科室の設備の充実
- ・各フロアに広いスペース
- ・広い図書室
- ・お迎え児童の部屋

玄関

- ・まとまった昇降口

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・昇降口の出入口を大きくしてほしい。
- ・PTA 玄関辺りの排水を良くしてほしい。

プール

- ・屋内、温水プール
- ・プールの必要性の検討、公的プールスイミング等の活用

外

- ・小高い丘の上の学校、広い視野
- ・草木が少ない校庭や中庭

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・職員室から運動場がよく見渡せるようにしてほしい。

その他

- ・いじめにならない、いじめにされないような教育、支援体制

トイレ

- ・多目的トイレの数、全ての階に複数設置

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・洋式かつ暖房便座にしてほしい。

設備

- ・木のぬくもりのある校舎
- ・吹抜空間、オープンスペース等多様な用途のある空間
- ・夏涼しく冬暖かい空気の通り道
- ・空間を遮る物の高さを下げる。
- ・安全面を考えた作り
- ・学校のテーマ、シンボルに沿った校舎
- ・手洗い場数の充実
- ・イベントを大切に

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・コンクリートを通らずに運動場へ出れるようにしてほしい。
- ・エレベーター
- ・車いす用の体育館のスロープ
- ・メンテナンスが必要なものはどのようにしていくか、検討
- ・2、3年フロアの手洗いスペースの増加
- ・外線電話回線の増加
- ・隔離スペース（嘔吐の時等）

地域課題に関する意見

- ・避難所として、地域活用しやすい部屋

（佐屋小教員からの事前意見）

- ・学校や体育館にキーボックスを設置（災害時のため）

令和 7 年度以降の検討事項(中間報告書より抜粋)

学校施設等に関すること

- | |
|--|
| ・ 一人一台端末環境での個別最適な学びと協働的な学びに対応しつつ、今後の学びの変化に柔軟に対応できる、多種多様な教育活動に必要な施設はどのようなものか。
(例:ICT 環境、異学年交流スペースなど) |
| ・ 教職員、児童ともに居心地の良い学校施設に必要な機能はどのようなものか。 |

(準備委員会委員からの意見)

- ・ より多くの教員の参加を仰ぐことで、検討を深めていくべきである。

地域課題等に関すること

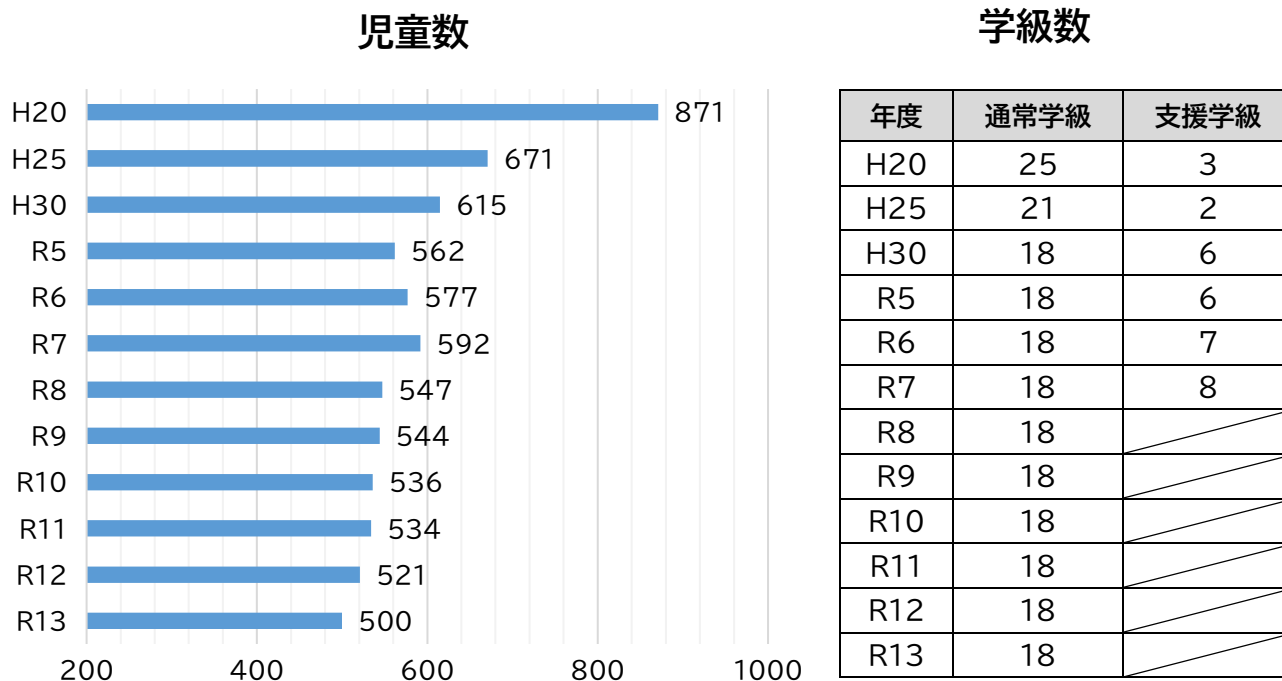
- | |
|---|
| ・ 地域住民の学校施設の利用をどのようにするか。その場合の学校施設に必要な機能はどのようなものか。 |
| ・ 有事の際に防災施設として必要な機能はどのようなものか。また、子どもたちの学習を早期に再開する中で、防災施設として機能し続けるためには、どのような機能が必要か。 |

(準備委員会委員からの意見)

- ・ 防災施設や市民が使用する施設としての機能の検討の際、市長部局から専門的な意見を聞く機会を作るべきである。

佐屋小学校の概要

1.児童数・学級数の推移(R7.5.1 現在)



※R8 以降の児童数・学級数は、未就学児童数を通常学級在籍者と推定し、計算しています。

※通常学級の規模

H20、H25、H30 : 1,2 年生 35 人学級、3～6 年生 40 人学級

R5 : 1～5 年生 35 人学級、6 年生 40 人学級

R6以降 : 全学年 40 人学級

2.施設

棟別	棟	建築年	面積(m ²)	構造	階数
北校舎	東棟	昭和 53 年	1,498	RC	3
	中棟	昭和 48 年	1,888	RC	3
	西棟	昭和 48 年	159	RC	3
南校舎	東棟	昭和 40 年	1,113	RC	3
	中棟	昭和 44 年	744	RC	3
	西棟	昭和 46 年	675	RC	3
	南棟	昭和 57 年	324	RC	1
体育館		昭和 55 年	1,198	RC	1

令和 7 年度 佐屋小学校準備委員会の目標

改築または長寿命化改修の方針を教育委員会へ提案し、
老朽化対策後の佐屋小学校の姿を具体的に構想する。

改築と長寿命化改修の比較表(※1)や、佐屋小学校教職員からのアンケートを参考に、改築及び長寿命化改修のそれぞれの場合で検討を重ね、老朽化対策の方針を教育委員会へ提案します。

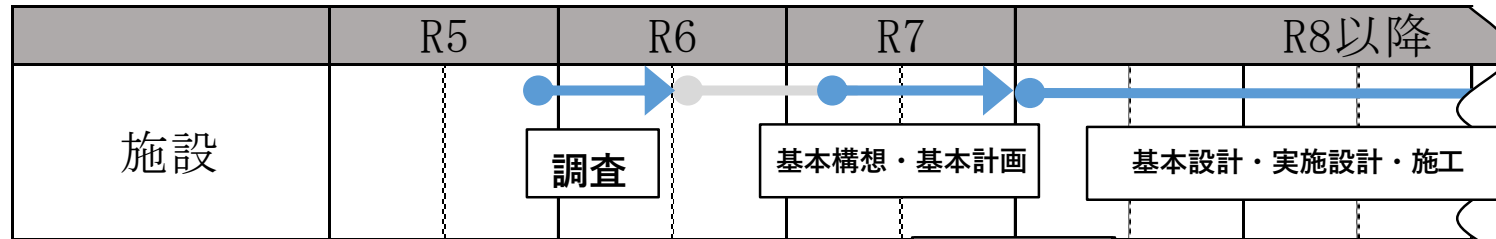
老朽化対策の方針決定後、方針に従い、佐屋小学校に必要な機能、設備等を検討することで、老朽化対策後の佐屋小学校の姿を具体的に構想します。

※1 佐屋小学校老朽化対策基本計画等策定業務の受注業者が作成



施策1 佐屋小学校の老朽化対策 スケジュール(案)

【新校舎完成までのスケジュール(修正案)】



【令和7年度のスケジュール(案)】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設	方針決定							●					
	基本構想・基本計画			●	→								
準備委員会					●		●					●	
検討部会						●			●				

改築・長寿命化改修の比較

1. 改築・長寿命化の特徴（一般的なメリット・デメリット）

	改築	長寿命化改修
学び	・ これからの教育に適した広さや配置を計画できる	・ 間取り変更により利便性の向上は可能(ただし耐震壁の配置等により制限がある) ・ 基本的に教室の広さを変えることができない
生活	・ 健やかな生活環境を計画できる	・ 内装や設備を改修することで生活環境の改善は可能(ただし採光・通風等の建物形状によるものは改善が難しい)
共創 (地域)	・ 地域への日影やプライバシーに配慮した計画が可能(ただし現状と変化することで影響は出る。規模が増加した場合は悪化する可能性がある) ・ 地域開放等の地域利用を想定した計画が可能	・ 日影等の既存不適格の場合、改善が困難 ・ 間取り変更により地域開放区画の形成は可能(ただし耐震壁の配置等により制限がある)
安全	・ 必要な耐震性を確保した建物の計画が可能 ・ 必要な防災機能を確保した建物の計画が可能(ハザードに配慮した配置・レベル設定も可能) ・ バリアフリーに配慮した建物の計画が可能	・ 補強、補修により耐震性・耐久性を向上可能(ただし既存躯体の劣化が激しいとコストがかかる) ・ 設備による防災機能の向上は可能(浸水レベル等の根本的な建物位置・高さによる対応は不可) ・ 改修やEVの増築によりバリアフリー化は可能(ただしスロープの設置でスペースが必要となる可能性がある)
環境	・ 時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能	・ 断熱、設備改修により省エネ性能の向上は可能 ・ 発電設備の設置は構造条件による
コスト	・ 長寿命化より工事費は高い ・ 配置によっては仮設校舎が不要(補助金：危険改築 補助率 1/3)	・ 改築に対する工事費の比率：0.6(ただし劣化状況により増加する可能性あり) ・ 仮設校舎が必要(補助金：長寿命化改良 補助率 1/3)

2. 各棟の状況

外観写真		建物概要			
	棟名	南校舎			
	建築年	S40（1965 年） / 築 60 年			
	構造・階数	RC・3 階			
	延床面積	2,532 m ²			
	主な諸室	普通教室、特別教室、特別支援学級			
	耐震改修	平成 18 年に実施			
躯体の劣化状況					
耐力度評点	鉄筋腐食度	かぶり厚さ	中性化深さ	躯体の状況	不同沈下量
3892 点	柱：大部分赤錆 梁：膨張 床：膨張	2.73 cm	1.88 cm	ジャンカ多	1/148
・耐力度調査の結果、4500 点未満のため「老朽化が著しく構造上危険な状態にある建物」として危険改築の対象 ・中性化が進行しているため、中性化対策が必要 ・赤錆、ジャンカ、ひび割れ、浮きが多く見られるため、大々的な躯体補修が必要 ・不同沈下が進行中の場合は構造体・非構造体の劣化が今後も進行する恐れがある ・雨漏りにより内部で鉄筋の腐食等が進行している恐れがある					
その他の課題					
・1 階床レベルが校庭より低く、1 階が浸水しやすい ・防火区画が成立していない ・避難計画が成立していない（階段不足） ・他棟と床レベルが異なっているため廊下に段差が生じている ・塔屋がなく屋上のメンテナンスがしにくい ・教室境が RC 壁のため間取り変更が困難					
長寿命化の適正					
・躯体の長寿命化のために大々的な補修・中性化対策等が必要 ・長寿命化改良の補助金不能使用できない可能性がある※ ・教室の広さ・位置、浸水、バリアフリー等、改修では根本的な改善が困難					

※長寿命化改良事業の対象となる建物の条件のうち、「コンクリート強度や不同沈下量、校地環境の安全性等の観点から、長期的に使うことが適切と学校設置者が判断するもの」にあたらぬ可能性がある

外観写真		建物概要				
		棟名	北校舎・西棟			
		建築年	S48（1973年）/築 52 年			
		構造・階数	RC・3 階			
		延床面積	2,050 m ²			
		主な諸室	普通教室、学年室、特別教室、給食配膳			
		耐震改修	平成 20 年に実施			
躯体の劣化状況						
耐力度評点	鉄筋腐食度	かぶり厚さ	中性化深さ	躯体の状況	不同沈下量	
3892 点	柱：大部分赤錆 梁：大部分赤錆 床：膨張	2.83 cm	2.22 cm	ジャンカ多	1/110	
・耐力度調査の結果、4500 点未満のため「老朽化が著しく構造上危険な状態にある建物」として危険改築の対象 ・中性化が進行しているため、中性化対策が必要 ・赤錆、ジャンカ、ひび割れ、浮きが多く見られるため、大々的な躯体補修が必要 ・不同沈下が進行中の場合は構造体・非構造体の劣化が今後も進行する恐れがある ・雨漏りにより内部で鉄筋の腐食等が進行している恐れがある						
その他の課題						
・防火区画が成立していない ・鉄骨階段が劣化しており、避難の際に危険 ・教室境が RC 壁のため間取り変更が困難						
長寿命化の適正						
・躯体の長寿命化のために大々的な補修・中性化対策等が必要 ・長寿命化改良の補助金が使用できない可能性がある※ ・教室の広さ・位置等が改修では根本的な改善が困難であり、新しい教育環境の確保には課題がある						

※長寿命化改修事業の対象となる建物の条件のうち、「コンクリート強度や不同沈下量、校地環境の安全性等の観点から、長期的に使うことが適切と学校設置者が判断するもの」にあたらぬ可能性がある

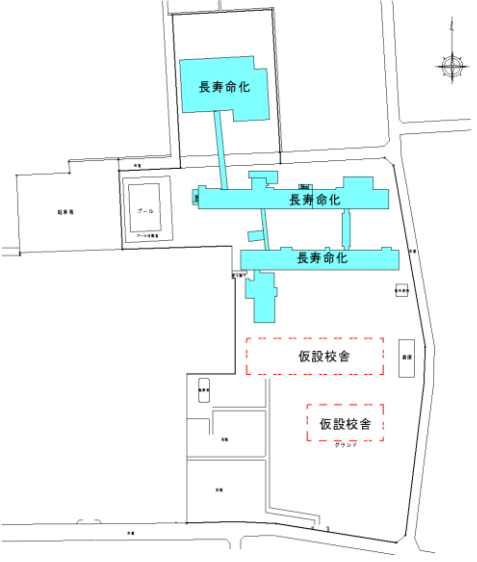
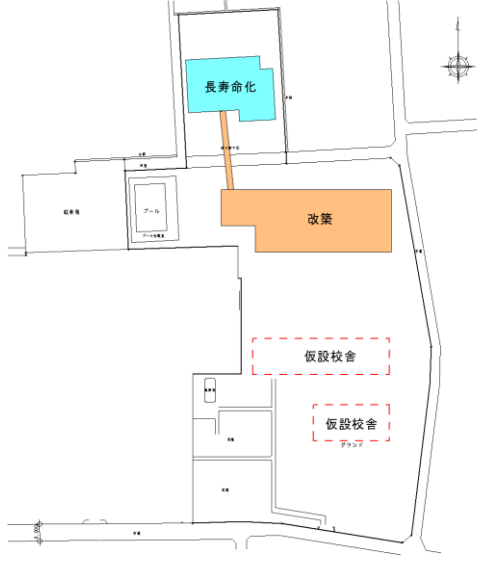
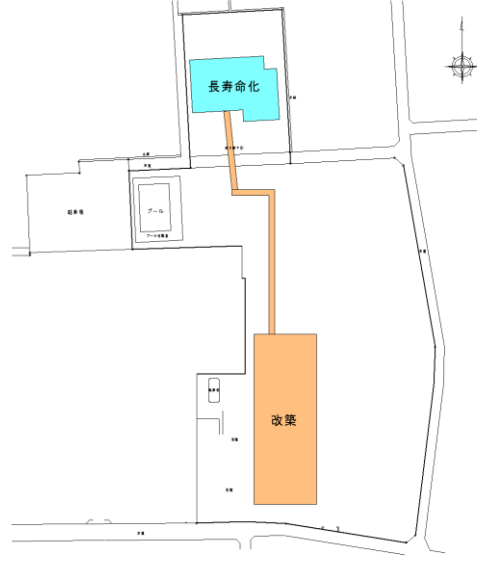
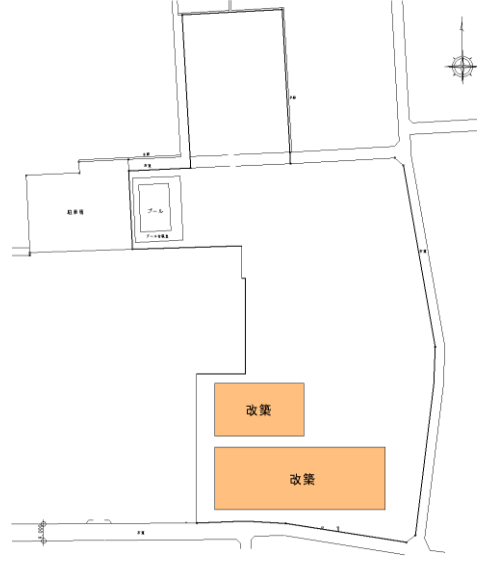
外観写真		建物概要				
		棟名	北校舎・東棟			
		建築年	S53（1978 年） / 築 47 年			
		構造・階数	RC・3 階			
		延床面積	1,498 m ²			
		主な諸室	普通教室、特別教室			
		耐震改修	平成 21 年に実施			
躯体の劣化状況						
耐力度評点	鉄筋腐食度	かぶり厚さ	中性化深さ	躯体の状況	不同沈下量	
4065 点	柱：大部分赤錆 床：膨張	3.00 cm	1.55 cm	ジャンカ多	1/141	
・耐力度調査の結果、4500 点未満のため「老朽化が著しく構造上危険な状態にある建物」として危険改築の対象 ・中性化が進行しているため、中性化対策が必要 ・赤錆、ジャンカ、ひび割れ、浮きが見られるため、躯体補修が必要 ・不同沈下が進行中の場合は構造体・非構造体の劣化が今後も進行する恐れがある ・雨漏りにより内部で鉄筋の腐食等が進行している恐れがある						
その他の課題						
・防火区画が成立していない ・構造的に危険な改修がされている（図書室） ・避難経路は北校舎西棟の階段を使用するため、単独では避難計画が成立しない ・塔屋、改め口がなく屋上のメンテナンスは北校舎西棟経由になる ・教室境が RC 壁のため間取り変更が困難						
長寿命化の適正						
・南校舎、北校舎西棟と比較すると少ないが、躯体の長寿命化のために補修・中性化対策等が必要。図書室の螺旋階段設置部に補強が必要。 ・長寿命化改良の補助金が使用できない可能性がある※ ・教室の広さ・位置等が改修では根本的な改善が困難であり、新しい教育環境の確保には課題がある ・単独では動線が成立しないため、長寿命化する場合は他棟との接続に留意する必要がある						

※長寿命化改良事業の対象となる建物の条件のうち、「コンクリート強度や不同沈下量、校地環境の安全性等の観点から、長期的に使うことが適切と学校設置者が判断するもの」にあたらぬ可能性がある

外観写真		建物概要				
		棟名	体育館			
		建築年	S55（1980年）/築45年			
		構造・階数	RC・2階			
		延床面積	1,198㎡			
		主な諸室	体育館			
		耐震改修	平成22年に実施			
躯体の劣化状況						
耐力度評点	鉄筋腐食度	かぶり厚さ	中性化深さ	躯体の状況	不同沈下量	
4264点	柱：大部分赤錆 梁：大部分赤錆	1.85cm	1.10cm	ジャンカ有	1/318	
・耐力度調査の結果、4500点未満のため「老朽化が著しく構造上危険な状態にある建物」として危険改築の対象 ・中性化が進行しているため、中性化対策が必要 ・赤錆、ジャンカ、ひび割れ、浮きが見られるため、躯体補修が必要 ・不同沈下が進行中の場合は構造体・非構造体の劣化が今後も進行する恐れがある						
その他の課題						
・道路から1階床レベルまで段差が大きい ・校舎から渡り廊下でアクセスしているためバリアフリー化するには校舎とは別途エレベータが必要						
長寿命化の適正						
・南校舎、北校舎西棟と比較すると少ないが、躯体の長寿命化のために補修・中性化対策等が必要 ・長寿命化改良の補助金を使用できない可能性がある※ ・規模に問題はないため、改修により必要機能は確保可能（バリアフリー化、校舎との接続方法は要検討）						

※長寿命化改良事業の対象となる建物の条件のうち、「コンクリート強度や不同沈下量、校地環境の安全性等の観点から、長期的に使うことが適切と学校設置者が判断するもの」にあたらぬ可能性がある

3. 改築・長寿命化比較表

		【A 案】全校舎長寿命化	【B 案】体育館のみ長寿命化（仮設校舎あり）	【C 案】体育館のみ長寿命化（仮設校舎なし）	【D 案】全校舎改築（仮設校舎なし）
配置イメージ					
新しい教育環境	学習	新しい教育に適した広さ・配置とできない	新しい教育に適した広さ・配置とできる 体育館と校舎を近くに配置可能	新しい教育に適した広さ・配置とできる 体育館と校舎の距離が遠くなる	新しい教育に適した広さ・配置とできる 体育館と校舎を近くに配置可能
	生活	内装・設備改修により環境改善は可能 動線の分かりにくさは改善できない	健やかな生活環境を計画できる	健やかな生活環境を計画できる	健やかな生活環境を計画できる
	共創（地域）	日影等の影響は既存と変わらない	日影等の影響は既存と変わらない	北側隣地への日影が減少する	北側隣地への日影が減少する
	安全	大々的な補強・補修が必要 全体のバリアフリー化が困難	必要な耐震・防災性能を確保できる 体育館のバリアフリー化は課題	必要な耐震・防災性能を確保できる 体育館のバリアフリー化は課題	必要な耐震・防災性能を確保できる 校舎全体のバリアフリー化可能
	環境	断熱、設備改修により性能の向上は可能	時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能	時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能	時代に即した省エネ、創エネ性能を確保可能
建設・改修コスト		長寿命化改修費用、仮設校舎費用 ※長寿命化改良の補助金は使用できない可能性あり	改築費用（校舎）、長寿命化改修費用（体育館） 仮設校舎費用、解体工事費用（校舎） ※長寿命化改良の補助金は使用できない可能性あり	改築費用（校舎）、長寿命化改修費用（体育館） 解体工事費用（校舎） ※長寿命化改良の補助金は使用できない可能性あり	改築費用、解体工事費用
工期中の施設利用		改修中は体育館使用不可	改修中は体育館使用不可	改修中は体育館使用不可	制限なし

教職員向けアンケート結果

【1】 既存校舎に対するアンケート

■実施期間：2025 年 6 月 25 日～7 月 2 日

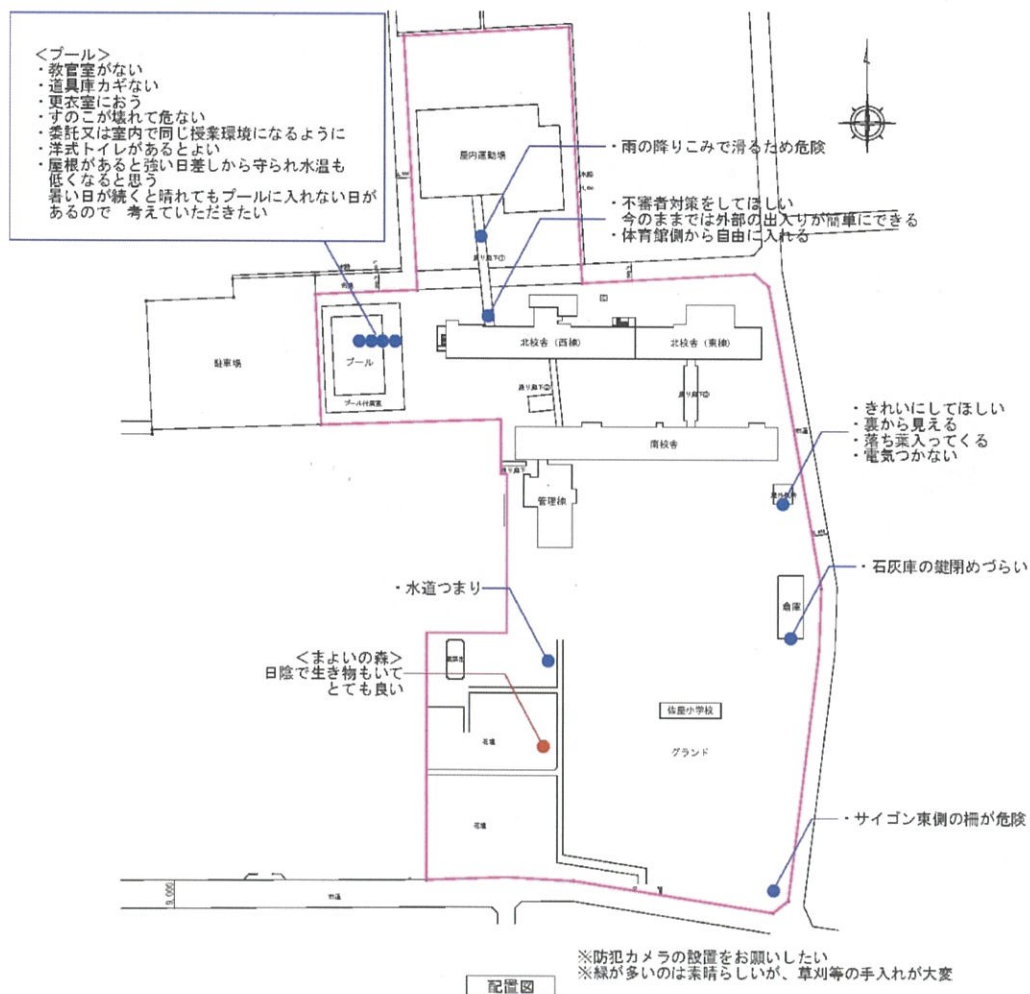
■対象：佐屋小学校に勤務する教職員

■実施方法：既存平面図、配置図上に使いやすい場所・使いにくい場所の印をつけてもらい、理由も記載いただく。

■実施結果

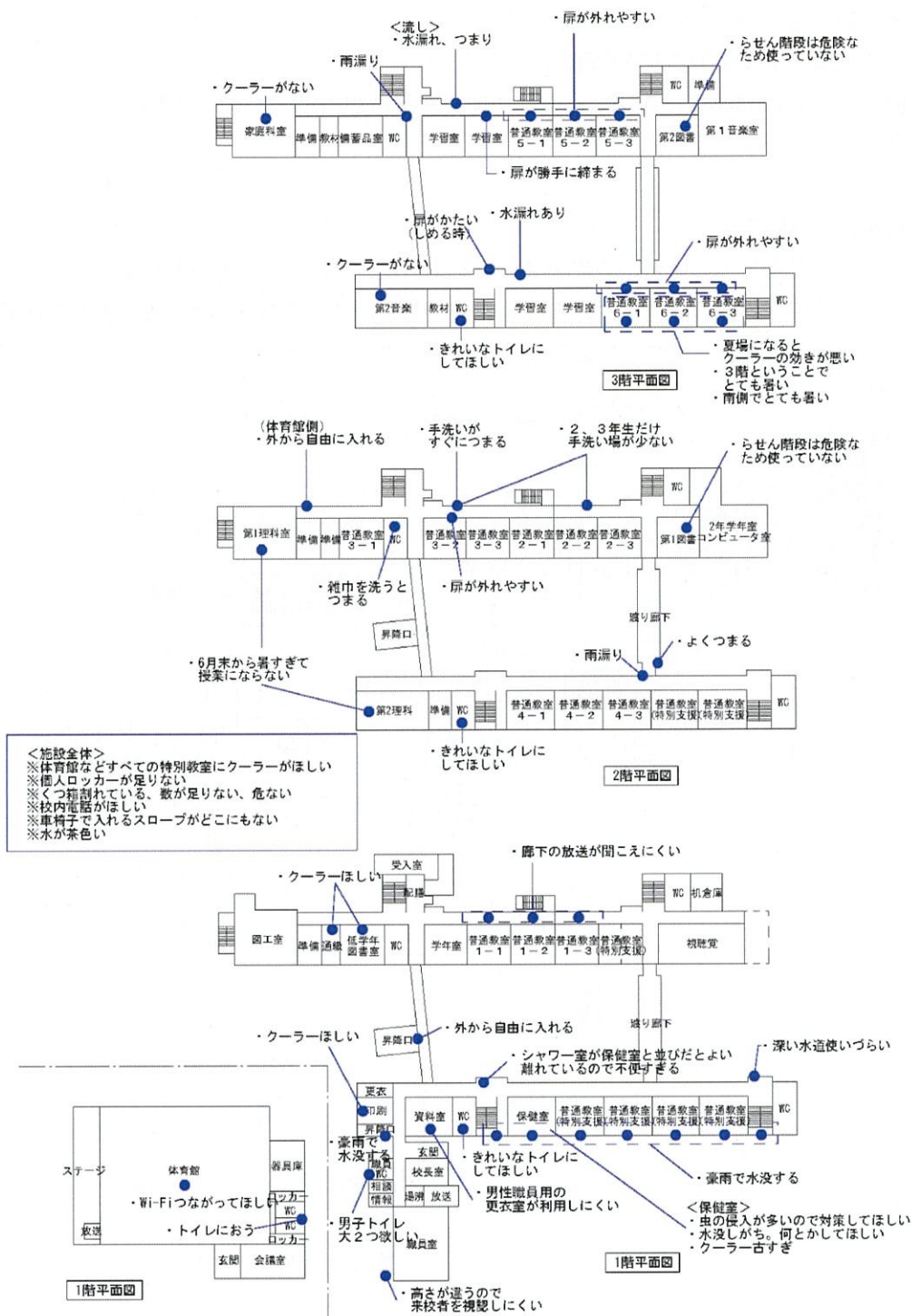
<屋外施設について>

使いやすい場所としては迷いの森が挙げられました。使いにくい場所として、プールに関するご意見と校庭設備の老朽化による不具合のご意見が多くありました。また、体育館側から校舎へのセキュリティについても改善要望がありました。



<校舎内について>

全体的に老朽化による建具や水道の不具合が多くありました。そのほか、空調の整備や防犯、バリアフリーに対する要望が多くありました。また、南校舎1階の校庭側は校庭よりレベルが低く、水没するという意見が多くありました。



【2】 これからの学校施設に対するアンケート

■実施期間：2025 年 6 月 25 日～7 月 2 日

■対象：佐屋小学校に勤務する教職員

■実施方法：フォームにて、自由記述式と選択式の設問によりアンケート実施。

■回答数：17 件

■実施結果

（1）佐屋小学校の特色、良いところ、継承したいところ（自由記述）

校庭の広さ、遊具、緑豊かな環境の充実がもっとも多く上げられました。子ども達のお気に入りとして「サヤゴン」の継承要望が多く上がりました。その他、歴史が感じられる、学年室等の施設の充実などが挙げられました。

校庭に関して（10 件）
・校庭が広い ・遊具が充実している ・緑豊か（迷いの森、道草くん） ・サヤゴン
施設に関して（4 件）
・学年室等の収納箇所が充実している ・理科室、音楽室が第 2 まである ・立派な体育館
学校の歴史に関して（3 件）
・随所に卒業生の作品があり歴史が感じられる 等
運営に関して（2 件）
・教員同士のコミュニケーションが盛ん ・多様な児童に対する人的配置
中学校との関係（1 件）
・中学校と隔たりなく隣接している

※挙げられた項目を 1 件とカウントしています。



迷いの森

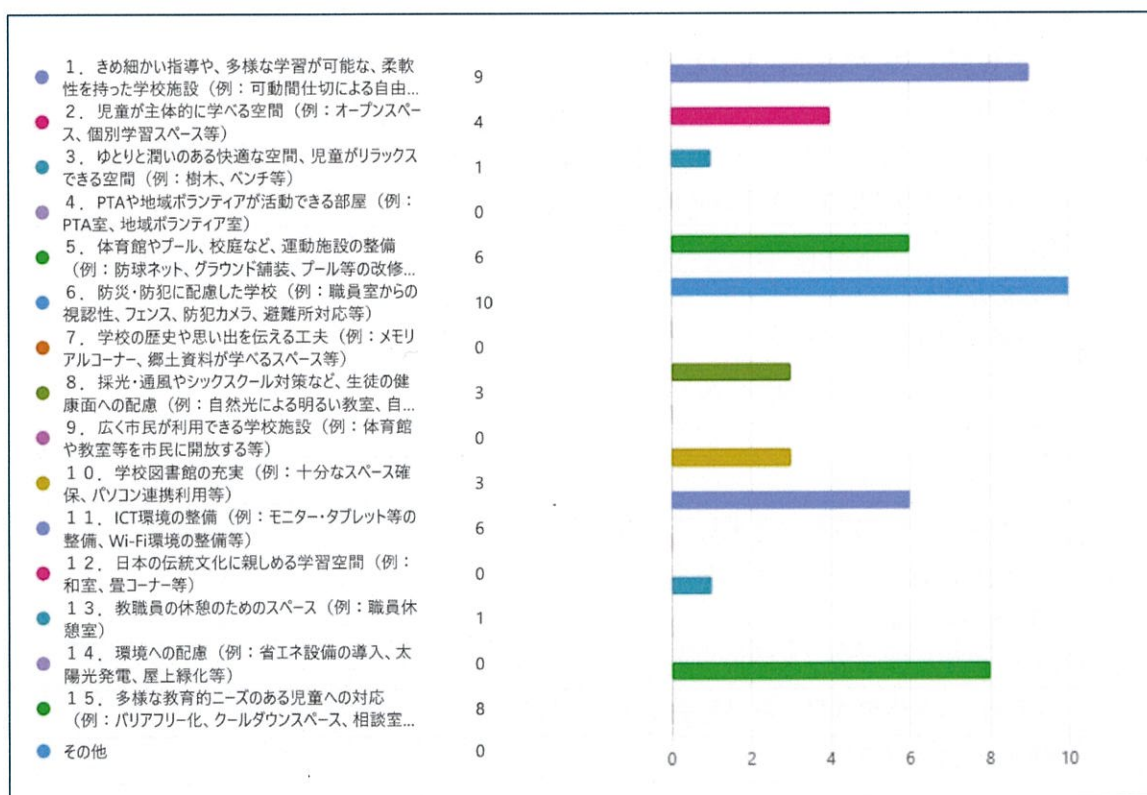


サヤゴン

(2) 学校施設を整備するにあたり大切だと考えること（3つまでの選択式）

上位3つは「きめ細かい指導や、多様な学習が可能な、柔軟性を持った学校施設」「防災・防犯に配慮した学校」「多様な教育的ニーズのある児童への対応」でした。次いで、「運動施設の充実」「ICT環境の整備」が多く選択されました。また、具体的なお意見として、自由に使用できるオープンスペースの設置や防犯カメラ等の設備の設置等が挙げられました。

集計結果



具体的意見

防犯について
・電気錠、防犯カメラの設置（いじめ防止としても）、フェンスの設置等
教室環境について
・モニター、Wi-Fi の改善 ・全部屋の空調整備 ・主体的・対話的な学びを大切にするためには教室が広く、自由に使用できる空間が必要 ・特性がある子どもに対する教育支援として可動間仕切りによる自由な間取りが必要 ・仕切りや小部屋がたくさんあると良い ・子ども達が遊び・話し合い・学び合いができるオープンスペースがあると子ども達同士の関わりが増える ・学習活動に適した照明設備
学校図書館について
・明るい場所にしてほしい ・自然と他学年との交流ができる空間となってほしい ・行きたいと思える素敵な空間にしたい
その他
・不登校児童等の対応ができる柔軟性の高い部屋（職員室の近く） ・屋内プール、空調付き体育館、屋根付きの運動場 ・季節等にあった災害対策 ・バリアフリー化、エレベータ設置 ・全ての項目を網羅した学校となることが大切

(3) その他意見

前項で挙げられた以外のご意見として、動線計画等の全体の平面計画に対するご要望、早急な建替えのご要望が挙げられました。

具体的意見（前項との重複を除く）

建物全体に対する要望
・地盤沈下しない土台 ・子ども達の動線に無駄がないような施設であってほしい ・電気をつけなくても明るい施設 ・中履きと外靴で共有せずすむ通路
改築要望
・学校全体の老朽化が進んでいるため改築してほしい ・佐屋小の施設的な問題を抜本的に解決するには建替えが必要。早期実現を望む。
その他
・雨でも整列できる下校スペース ・昇降口は外部から入れないように ・校内電話の設置